

立候補者のお名前	武井俊輔
所属政党	自由民主党
選挙区	宮崎 1 区
問 1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）	3. 将来入る可能性はある
問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）	1. その人を尊重し応援したいと思う
問 3－① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	5) その他（具体的な答えは、次ページに自由記述）
問 3－② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	5) その他
問 3－③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	5) その他
問 3－④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	5) その他
問 3－⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	5) その他
問 3－⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	5) その他
問 3－⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	5) その他

<p>上記①-⑦にて、5) の自由記述</p>	<p>自民党では性的指向・性同一性の多様性に関して理解促進を図るための法整備を検討しており、具体的な施策については政府申し入れにより現行制度をフル活用して実現を目指す方針です。従って、具体施策について法律で義務化することを目指すものではありませんが、一方で、今後も引き続き政府の取り組みをフォローアップし、党として政府に対して調整や働きかけを続けますので、行政や現場の裁量に委ねてしまうことも考えておりません。そのため、問三には私たちの方針に適切な選択肢がありませんでしたので、記載のような回答となっています。ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）</p>	<p>7. その他（具体的に）</p> <p>憲法24条の「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立」が基本であり、同性婚容認は相容れないものです。また、一部自治体が採用した「パートナーシップ制度」についても慎重な検討が必要です。</p>
<p>問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。</p>	<p>当事者の皆さまの意見を聞く場に参加するなどさせて頂き、知見を深めていきたいと考えております。</p>